

1 基本項目	事務事業名	防犯対策事業		担当部署	課名	環境安全課	
	予算事業名	防犯対策事業		係名	生活安全係		
	事業区分	自治事務		電話番号	0765-23-1048		
	事業期間	開始年度	昭和45年度	終了年度	当面継続		
	総合計画	目標名	基本目標 2 安全で快適な暮らしやすいまち		予会計	一般会計	
		政策名	6 生命と財産を守る安全・安心な暮らしの確保		款	総務費	
		施策名	14 日常生活の安全確保		項	総務管理費	
基本事業名		14-2 防犯対策の推進		目	防犯対策費		
根拠法令				アウトソーシング導入状況	導入予定（業務委託）		
				総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載		

2 事業概要	事業概要	防犯関係団体と連携、各種活動を実施し、安全・安心な魚津市の実現を目指す ・魚津市防犯協会、魚津市安全なまちづくり推進センター、魚津市暴力追放運動推進協議会、魚津神社祭礼対策協議会への活動支援	
	対象	市民、防犯関係団体（魚津市防犯協会、魚津市安全なまちづくり推進センター、魚津市暴力追放運動推進協議会、魚津神社祭礼対策協議会）	
	手段（活動指標）	魚津市安全なまちづくり推進センター及び魚津神社祭礼対策協議会の事務局業務 防犯関係団体への活動補助金の交付及び事業の協力：防犯協会、暴力追放運動推進協議会	
	意図（成果指標）	<ul style="list-style-type: none"> 市民の防犯意識の高揚を図り、地域における防犯活動の充実を図る。 防犯関係団体、組織の強化と活動の充実を図る。 犯罪発生、被害者の減少 	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度	
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動指標	① 魚津市防犯協会 年間活動費	千円	1,395	1,308	1,325	1,286	97.1%	1,243	
	② 魚津市暴力追放運動推進協議会 年間活動費	千円	1,200	1,279	1,208	1,111	92.0%	1,100	
	③								
	成果指標	① 犯罪発生件数	件	290	246	240	230	95.8%	200
		②							
		③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	135,000	26,324	159,000	119,973	355.8%	176,000
	② 委託料	円	1,600,000	1,600,000	1,600,000	1,600,000	0.0%	1,600,000
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円	700,000	700,000	700,000	700,000	0.0%	700,000
	⑤ その他	円	75,000	70,660	82,000	76,490	8.3%	72,000
	支出合計（A）	円	2,510,000	2,396,984	2,541,000	2,496,463	4.2%	2,548,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円	200,000	200,000	200,000	200,000	0.0%	200,000
	③ 地方債	円						
	④ その他（使用料、雑入等）	円						
	⑤ 一般財源	円	2,310,000	2,196,984	2,341,000	2,296,463	4.5%	2,348,000
	収入合計	円	2,510,000	2,396,984	2,541,000	2,496,463	4.2%	2,548,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	② 年間所要時間	時間	350	350	350	420	20.0%	420
	③ 人件費（②×@ 4,200円）（B）	円	1,470,000	1,470,000	1,470,000	1,764,000	20.0%	1,764,000
	総費用（A+B）	円	3,980,000	3,866,984	4,011,000	4,260,463	10.2%	4,312,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	≪事務事業の内容≫ 魚津市安全なまちづくり推進センター及び魚津神社祭礼対策協議会の事務局業務 防犯関係団体への活動補助金の交付及び事業の協力：防犯協会、暴力追放運動推進協議会 地域等における犯罪等発生が予測される危険個所の把握（地区等防犯組合、警察等）	
	≪改善内容≫ 特になし	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
						1次評価	2次評価
妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	市民の安全確保のため防犯協会（地区防犯組合）、警察などの関係機関が一体となった防犯活動の推進が必要である。	
				目的の妥当性	1 妥当である		
				対象の妥当性	1 妥当である		
有効性	有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	・犯罪発生件数は、着実に減少している。 H26：230件H25：246件H24：298件H23：290件H22：350件 ・振り込め詐欺等の特殊詐欺事件について、全国的に多発、被害金額の拡大している。	
				類似事業の有無	1 なし		
				上位施策への貢献度	1 高い		
効率性	効率性	B	B	コスト効率	2 普通	防犯協会、暴力追放運動推進協議会、安全なまちづくり推進センターの組織、事務局の一体化により効率性の向上が見込まれる。	
				実施主体の適正化	2 改善の余地あり		
				負担割合の適正化	1 適正である		
	1次評価（課長総括）	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要	
	後の方針） （評価結果及び今後の方針）	防犯関係団体、組織等の強化や活動の充実が図られ、犯罪等の発生件数は大幅に減少した。 駅周辺、犯罪等多発地域に防犯カメラを26台設置し、犯罪等の発生抑止に努めている。今後も防犯上必要と思われる個所については検討していき、安全・安心なまちづくりに努めることが必要である。			評価結果		

1 基本項目	事務事業名	防犯対策施設維持整備事業		担当部署	課名	環境安全課		
	予算事業名	防犯対策施設維持整備事業			係名	生活安全係		
	事業区分	自治事務		電話番号	0765-23-1048			
	事業期間	開始年度	昭和30年度	終了年度	当面継続	予会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標 2 安全で快適な暮らしやすいまち				款	総務費
		政策名	6 生命と財産を守る安全・安心な暮らしの確保				項	総務管理費
		施策名	14 日常生活の安全確保				目	防犯対策費
根拠法令	14-2 防犯対策の推進				アウトソーシング導入状況	導入予定なし		
					総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載		

2 事業概要	事業概要	夜間における市民の安全・安心の確保のため、防犯用設備を整備する。 ・防犯灯の整備、維持管理
	対象	市民、市が維持管理する防犯灯
	手続(活動指標)	・防犯灯の適切な整備、維持管理 ・防犯灯のLED化 ・防犯カメラの設置
意図(成果指標)	・市民が安心して生活できる環境が整っている ・防犯灯が適切に維持管理されている ・防犯灯のLED化が促進されている	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標 成果指標	① 既存の市防犯灯のLED化基数	基	0	3,351	3,366	3,364	99.9%	3,379
	② 防犯灯の新設数	基	10	13	15	13	86.7%	15
	③ 防犯カメラの新設台数	台	0	8	32	26	81.3%	0
	① 市防犯灯のLED照明総数	基	0	3,595	3,595	3,608	100.4%	3,623
	② 地区防犯灯のLED化 年間の実施数	基	26	26	39	35	89.7%	39
	③ 防犯カメラの設置総数	台	0	8	40	66	165.0%	66

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	13,542,450	13,535,085	7,000,000	5,813,055	-57.1%	6,880
	② 委託料	円	5,302,500	5,302,500				
	③ 工事請負費	円	2,900,050	2,897,475	8,700,000	8,614,339	197.3%	570,000
	④ 負担金補助及び交付金	円	260,000	253,900	390,000	350,000	37.8%	390,000
	⑤ その他	円			7,732,000	7,662,528		7,601,000
支出合計(A)		円	22,005,000	21,988,960	23,822,000	22,439,922	2.1%	8,567,880
財源内訳	① 国庫支出金	円	5,400,000	5,302,000				
	② 県支出金	円	561,000	430,000	612,000	330,000	-23.3%	
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円			4,920,000	4,433,920		892,000
	⑤ 一般財源	円	16,044,000	16,256,960	18,290,000	17,676,002	8.7%	14,549,000
収入合計		円	22,005,000	21,988,960	23,822,000	22,439,922	2.1%	15,441,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	② 年間所要時間	時間	500	1,000	350	1,000	0.0%	1,000
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	2,100,000	4,200,000	1,470,000	4,200,000	0.0%	4,200,000
総費用(A+B)		円	24,105,000	26,188,960	25,292,000	26,639,922	1.7%	12,767,880

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<<事務事業の内容>> ・防犯灯の整備、維持管理 ・防犯灯のLED化「地区防犯灯LED化支援事業」 ・防犯カメラの設置 ・県単補助事業『緊急地域防犯設備整備モデル事業』 魚津駅地下道：3基、JR魚津駅西周辺：2基設置 ・他に市単独予算・寄付金等で、小中学校、電鉄魚津駅周辺、経田駅、市役所前公園などに21基防犯カメラを設置。 平成26年度防犯カメラ設置数 計26基	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
						2次評価	不要
妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である			
			目的の妥当性	1 妥当である			
			対象の妥当性	1 妥当である			
有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり			
			類似事業の有無	1 なし			
			上位施策への貢献度	2 普通			
効率性	A	A	コスト効率	2 普通			
			実施主体の適正化	1 適正である			
			負担割合の適正化	1 適正である			
1次評価(課長総括)		A	A	現行どおり管理運営を行うことが適当	2次評価	不要	
後の方針)	防犯灯が整備、維持管理され、市民が安心して生活できる環境が整っている。また、市管理防犯灯については、概ねすべてをLED照明に切り替えたことにより、電気料、修繕料等の維持管理経費の削減が図られた。今後は、地区等が管理する防犯灯についても、一層のLED化に努めていくことも必要である。				評価結果		